

令和8年度第2回日野市ごみ減量・リサイクル等推進協議会 要点録

■会議の日時等

日時 令和8年(2026年)5月26日(火) 午後1時30分～午後4時05分

会場 日野市クリーンセンター プラスチック類資源化施設 2階多目的室

出席者 協議会委員

【廃棄物に関し学識経験のある者】

宮脇委員

【市民委員】

公募市民:小川委員、小松原委員、新井委員

市民団体:関口委員、小野寺委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

新野委員、多治見委員、津嶋委員(本人欠席のため代理出席)

【環境政策課長】

成澤委員

【施設課長】

井上委員

事務局

【ごみゼロ推進課】

小澤課長、志村係長、土屋主事

欠席者 協議会委員

【市民委員】

公募市民:清水委員

学生:興津委員、鈴木委員、田中委員、五味委員

【ごみ減量の推進体制の構築に資する事業者及び団体の関係者】

高松委員、内田委員

傍聴者 あり(1名)

次第

- 1.開会
- 2.【現場視察】組成分析調査の見学
- 3.議事
- 4.その他
- 5.閉会

■主な内容

<協議会>

1. 開会

- ・開会のご挨拶（日野市）

2. 【現場視察】組成分析調査の見学

- ・プラスチック類ごみの組成分析調査を見学

3. 議事

事務局より説明。

① 前回議事の確認

（質疑応答）

事務局：前回の協議会にて、組成分析調査において、「資源化できるごみ」と「資源化できないごみ」はどのように分類するのか、という質問をいただいた。組成分析調査では、汚れの有無についても分類し、洗えば汚れが落ちるものは「資源化できるごみ」、土などがついているものや劣化が激しいものは「資源化できないごみ」としている。

A 委員：例えば、容器包装リサイクル協会の分別基準と整合を図るなど、プラスチック類の分類に関する基準をより明確にしてほしい。

事務局：組成分析調査において、分別区分の判断に迷う項目については、日野市のごみ分別区分を確認した上で分類している。容器包装リサイクル協会の分別基準を市民に求めることは、負担が大きく、困難と考えられる。市民には市が定めた排出ルールに従って分別していただき、収集以降は行政の責任で行うといった役割分担を図ることが望ましいと考える。

② ごみ処理の現状について

（質疑応答）

B 委員：ごみ処理経費を含む現状を鑑みて、日野市のごみ処理行政は、他自治体と比べ、健全に行われていると考えて問題ないか。一般的に、人口の増加に伴い、一人一日あたりごみ排出量も増加する傾向にあると考えられるが、今後の人口増加を見据え、対策すべきことはあれば見解を伺いたい。

事務局：ごみ処理行政の健全度については、今回提示したごみ処理経費の整理のみでは判断できない。日野市では導入していないが、環境省が推奨する「一般廃棄物会計基準」というものがある。これを活用することで、ごみ処理事業におけるコスト分析や費用対効果を把握でき、健全度評価も可能となる。他自治体との比較については、自治体によって、ごみの分別区分や保有する施設の種類や処理能力等が異なるため、単純比較はできない。

会長：他自治体との比較については、同じ“可燃ごみ”という分別区分であっても対象に含めるごみが異なったり、地域特性も異なったりするため、一概に比較できない。一般廃棄物会計基準は、国は推奨しているが、職員の事務負担が大きいと、導入については慎重に検討する必要がある。

A 委員：人口規模の大きい自治体においてごみ排出量が多くなる要因は、人口に比例して、事業所数が多いことが影響していると考えられる。

会長：1人1日あたりごみ排出量は、家庭系ごみと事業系ごみを合算した指標となっている。小野寺委員のご指摘どおり、人口に伴って事業所数も増加するため、ごみ排出量も多くなると考えられる。

③ 第3次日野市ごみゼロプラン改定プランの実施状況について

④ アンケート調査の実施概要

・グループワーク「ごみに関するアンケート調査について」

(1). 概要説明

(2). グループワーク

(3). 発表

(4). 講評

4. その他

次回(第3回)協議会の開催:8月上旬開催予定

5. 閉会

日野市ごみに関するアンケート調査 検討結果 対応表

No.	班名	班・大項目	記載内容(付箋等の内容)	調査票への反	対応
1	A班	全体構成	広報にQRコード載せたら回答が増えないか(スマホ)	×	市民以外の方が回答したり、重複回答があった場合の確認が困難なため、広報にはQRコードは記載しないこととします。
2		設問/選択肢	リチウム電池について追加	○	リチウム電池の問題は全国的に課題であるため、水銀とあわせて、「有害ごみ」として排出することの認知度について、確認することとします。⇒設問15)
3		設問/選択肢	(設問8)生ごみの排出・処理方法について 選択肢に「ディスポーザーで処理している」を追加	○	市内に「ディスポーザー」を使用している世帯も一定数いるため、選択肢に追加します。⇒設問8)
4		設問/選択肢	(設問13) プラスチック類ごみの分別で分かりにくいことについて(削除) プラスチック類ごみ分別の障害を把握するための設問であり、障害として、「どの程度汚れを取り除けばよいのかわからない」何がプラスチック類ごみにあたるかわからない」といったことを取り上げていますが、他の調査では、面倒だから汚れを取り除いて分別することはしないことが大きな障害となっています。 プラスチック類ごみの分別を徹底するためには、調査結果如何にかかわらず、分別ルールを周知するとともに、汚れが落ちないもの以外は、ひと手間かけて汚れを取り除き、できるだけ資源物として分別するよう強く訴えていくことが必要です。	×	市の排出実態を把握したいため、原案どおりとします。
5		設問/選択肢	(設問14) プラスチック類ごみの減量のための取り組みについて 選択肢オ.(スーパーの店頭回収)を(スーパーなどの店頭回収)に修正	○	修正します。⇒設問14)
6		設問/選択肢	(設問16) 可燃ごみとして排出している理由について 選択肢に「雑誌・雑紙を入れる紙袋が手に入りくいから」を追加	○	追加します。⇒設問17)
7		設問/選択肢	生ごみの分別収集を実施した場合の市民の協力度(追加)	×	設問21)において、「生ごみ」も選択肢に含めて、協力度については確認します。そのため、原案どおりとします。
8		設問/選択肢	(設問19) 分別回収に協力できそうな品目について(削除) 多摩地域の一部の自治体では、紙おむつを除き、いずれの品目についても分別回収が実施されています。 日野市でも、これらの品目の分別回収を実施した際には、市民の協力を得られると考えてよいのではないかと。	×	市民の意向を把握したいため、原案どおりとします。(設問20)
9		設問/選択肢	(設問10) ダンボールコンポストの講習会の認知について(削除) 実際には講習会の参加者はごくわずかであり、アンケート調査では、講習会に参加したという人はほとんど出てこないと推測されることから、講習会への参加状況については聞く意味がないと思われます。 ただし、講習会の認知状況については、ダンボールコンポストの普及啓発活動の参考とするために必要なので、ダンボールコンポストそのものの認知状況と併せて聞くことにしたいと思います。	○	ご意見を踏まえ、以下のとおりに修正します。 ・原案の設問9)生ごみ処理器の購入費の補助制度、10)ダンボールコンポストの講習会の2問を削除 ・設問8)の選択肢ア.「可燃ごみ」として出している、の回答者を対象に、「ダンボールコンポストを利用しない理由」について確認する設問を追加 ⇒設問9) ・設問8)の選択肢イ.「生ごみ処理器(ダンボールコンポスト等)を利用している、の回答者を対象に、「ダンボールコンポストの使用状況」を確認する設問を追加 ⇒設問10)
10		設問/選択肢	市民のダンボールコンポストの認知状況・使用状況(追加)	○	
11		設問/選択肢	指定収集袋の値上げ(追加)	×	
12		設問/選択肢	(設問20) ごみに関する情報入手のため市に望むことについて ごみに関する情報入手での改善希望点については、「2.6分別方法に関する情報の入手方法について」及び「2.7)ごみに関する情報の入手方法について」の回答からも見えるのではないかと考えられます。	×	設問6)7)では実態把握、設問20)では改善事項を把握したいと考えています。そのため、原案どおりとします。
13		市民目線	(設問7)「市民活動団体」とは？イメージしにくい	○	「NP0・ボランティア団体」へ修正します。 ※公平性確保のため、具体的な団体の名称は記載しないこととします。
14		市民目線	(設問19)市への要望についての回答(選択肢)が難しい	○	平易な用語に修正し、取り組み内容についても追記しました。

No.	班名	班・大項目	記載内容(付箋等の内容)	調査票への反	対応
15	B班	全体構成	回答時間10分は長い 5分が妥当	×	回答時間を5分とするためには、設問数を原案の半分程度(10問程度)に削減する必要があります。困難であるため、原案程度とします(計22問)。
16		全体構成	文章は短く 文字は大きく	○	文章は短くしすぎると、意図が伝わらず、回答しづらくなってしまうため、回答のしやすさを重視した文章としています。文字のフォントサイズを10.5→12に大きくしました。
17		全体構成	回答がどこまで進んでいるかを示す図(グラフ)等がほしい	○	紙の調査票の表紙に、「設問数」と「所要時間」を示すようにしました。オンライン調査では、「設問数(合計)」に対し回答がとこまで進んでいるかを示すバーを記載しました。
18		全体構成	回答者へのインセンティブは必要か？	×	ご意見のとおりインセンティブがあれば回答率の向上が見込めますが、今回は紙面とオンラインの併用であり、共通のインセンティブ付与が困難であるため、見送ります。今後の参考とさせていただきます。
19		全体構成	7Pの構成(設問18)の表現が硬い！	○	No.14の回答のとおり。
20		全体構成	アンケートに回答しながらも啓発につながる工夫	○	認知度の確認(～であることを知っていますか？)の設問を通じて、啓発を図るよう工夫しました。⇒設問15)
21		全体構成	日野市の状況等(現状)も提示して質問する	○	紙面スペースの制約もありますが、可能な限り設問の付随する情報として、「日野市では～」という文章を記載するようにしました。⇒2. 3. 5. 6.
22		全体構成	問のページの下などに市の(現状の)クイズ等。→啓発にもなる	×	No.20の回答のとおり。
23		全体構成	指定収集袋 単価を一定にするのではなく、小袋は安価、大袋は高価とすることで、ごみ減量化に誘導	×	No.11の回答のとおり。
24		設問/選択肢	浅川清流環境組合を知っていますか？(設問追加)	×	3市で組合を設立し、可燃ごみの広域処理していることについては、広報や計画を通じて、周知・情報発信をしていく予定です。
25		設問/選択肢	3市(小金井市、国分寺市)での共同処理を知っていますか？(設問追加)	×	No.24の回答のとおり。
26		設問/選択肢	集合住宅での収集方法(いつでも出せる等)について	×	集合住宅での収集方法については、次期計画の施策において検討することとします。
27		設問/選択肢	分別について家族に共有されているか	×	環境教育については、次期計画の施策において検討することとします。
28		設問/選択肢	水銀問題を追加したい	○	水銀問題は日野市特有の課題であるため、リチウムイオン電池とあわせて、「有害ごみ」として排出することの認知度について、確認することとします。⇒設問15)
29		市民目線	(設問14)「リターナブル容器」という用語がわかりにくい	○	「詰め替え容器」に修正します。
30		市民目線	(設問9)(設問10)「生ごみ処理機」「ダンボールコンポスト」等、簡単な用語説明があると回答しやすい	○	難解な用語については、欄外に注釈で用語説明をつけるほか、市のURLを付すことで、必要な情報を得られるように工夫しました。⇒設問6) 7) 3. 8) 14) 18)
31		市民目線	(設問追加) 情報に満足していますか？(今提供されている情報が十分か)	×	設問20(ごみに関する情報入手のため、市に改善を望むもの)に関連するため、原案どおりとします。
32		市民目線	(設問6)「ごみ分別辞典」がわかりにくい	○	欄外に注釈で用語説明をつけるほか、市のURLを付すことで、必要な情報を補足的に得られるように工夫しました。
33		市民目線	情報入手方法において、スマホアプリの活用を請求	×	分別アプリの活用については、次期計画の施策において検討することとします。
34		市民目線	集合住宅と戸建では排出方法が異なる	×	No.26の回答のとおり。
35		市民目線	プラ類の洗浄等の必要性を明記する必要あり	×	プラスチック類ごみの排出方法に係る啓発方法については、設問13)プラスチック類ごみの分別についての不明点や組成分析結果等の結果を踏まえ、次期計画の施策において検討することとします。
36		市民目線	スーパーのレジ袋「必要ですか」の声かけはやめる	×	レジ袋削減に向けた事業者との連携については、次期計画の施策において検討することとします。